

今後の治水対策のあり方について 中間とりまとめ（案）に関する意見

①氏名 (フリガナ)		伊奈 紘 (イナ ヒロシ)			
②住所		(都道府県名)		(市区町村以下)	
		愛知県			
③電話番号		0536-62-1366		メールアドレス	
④職業				⑤年齢	
				⑥性別	
意見該当箇所		⑦御意見			
頁	行	(200字を超える場合は200字以内の要旨も記載)			
19	全	<p>「計画の前提となっているデータ等について詳細に点検を行う。」13~14行 となっていますが、その中に最も重要な地質調査が述べられていない。現在でもダム 建設途中や建設後に地滑りや水抜け、堰堤のひび割れなど重要な問題が起こっている ダムがある。またそれによって工期の延長や事業費の大幅な増加が生じている。建設 の事前に必ず第三者の専門家による精度の高い、最新の知見に基づいた再調査、再検 査を行い、それに基づいて慎重な検討を行い、安全性が十分担保できるという補償が なければダム建設に着手すべきでない。</p> <p>(例) 私の地元で建設予定の設楽ダムについて言えば、かつて電源開発のダム計 画があり、その時、地質が悪く建設を断念した経緯がある。その同じ場所に現在設楽 ダム建設が計画されており、地元民として安全性について非常に心配している。平成 20年5月9日付けで設楽ダム工事事務所から私のところに届いた回答書でも、「これ までダム位置の検討のため地質調査を実施してきており、本調査地点（ダム建設予定 地直下の右岸）周辺の地質条件は上流側に比べると、あまり良好でないと確認されて います。今回の調査結果を踏まえて、より地質条件の良いダム位置の検討を現在進め ているところです。」とあり、この時点でもダム位置が決まっていないことが分かっ た。また、ダム堰堤上流に地滑りが心配な地域があることや、ダム堰堤の真下に破砕 帯があることも確認されている（国土交通省提出の地質断面図による）。地質の強度 分類でもA、BはなくC~Dばかりで、近くに古い断層が何本も走っているためかな り揉まれて、岩石がひび割れだらけになっていることも分かっている。</p> <p>ダム建設は安全確保が必須条件。仮に建設できても、東海地震のような大きな地震 が発生した時、耐えられるのか？下流域の住民の命は守られるのか？ 十分な検討を してほしい。そのためには、建設推進の国土交通省や建設業者の判断だけでなく、公 正な判断ができる第3者の専門家による調査・検査に判断をゆだねるべきである。</p> <p>ダム計画再検討の大きな項目として、地質調査を入れるべきだと考える。</p> <p>(要旨) 地質調査について公正な判断ができる第三者の専門家による精度の高い、再 調査、再検査を行い、それに基づいて慎重な検討を行い、安全性が十分担保できると いう補償がなければダム建設に着手すべきでない。点検項目にこれを入れるべき。</p>			